

一般質問

一般質問は、議員が一般事務に対し、その執行状況や将来の方針、政策、提言や行政課題等を執行者に直接質すものです。

YouTube で録画配信をしています。ぜひ、ご視聴ください。



No.	質問者	質問事項
1	竹下 英治	1. 広川町の人材育成
		2. 監視カメラの運用
		3. 職員の定員増
		4. ネイティブテキスタイル産地プロジェクト
		5. 農業
2	下田めぐみ	1. クーリングシェルター
		2. 教育支援センター
3	梶原 一美	1. 教育支援センターの具体像
		2. 水泳授業の民間委託に係る報告書の進捗
		3. 上広川小学校の移転計画の進捗状況
4	池尻 浩一	1. 民生委員・児童委員の実動、町の支援のあり方
		2. 公民館の今後の整備・活用
5	辻 満晴	1. 令和6年ふるさと納税の取り組み
		2. 農地の有効的利用に対する取り組み
6	江藤 美代子	1. 教育支援センターの構想と学校現場の現状
		2. 同和対策事業
7	藤島 玄稔	1. 都市計画区域
		2. 働く場の創設
		3. 教育・文化環境の充実
		4. 道德教育
		5. 人材確保と人材育成

人材育成基本方針 策定の趣旨は

答
あるべき職員像を
自ら求めるため

竹下 昨年度末の「広川町人材育成基本方針」策定の背景や目的は何か。

町長 住民ニーズの多様化が更に進み職員の負担感が増している中

にあっても、職員一人一人が成長し広川町に貢献することで、職員自身も働いていて良かったと感じることのできるウェルビーイング※な職場作りを目指していきたい。

竹下 平成25年に作成された「広川町人材育成基本方針」にも目指すべき職員像について、例えば「町民目線」「地域への愛着」「コス

ト意識」等の立派な内容が定められている。この内容は現状でも通用すると思うが、今次策定された基本方針は何か異なるのか。

町長 平成25年の基本方針については、その中身について職員に周知しながらも、それを意識しながら仕事をしてきたという実態がなかった。今回、新たな人材育成基本方針を策定したのは、職員自らが目指すべき職員像を改めて考え直そうとしたものである。

教育長 町を良くする志を持ち、人と人の繋がりを大切にする職員



竹下 英治 議員

育成のため、町長部署と一体となって取り組んでいく。



※ウェルビーイング
身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを指す概念